



4
3770
II

昭和二十六年
二月十三日
購

京羽二重織留序



凡^{あき}了^り錦^かかり^りと
云^いふ^ふ糸^{いと}本^{もと}起^{おこ}り^して^は去^いり^して
球^{きう}別^{べつ}多^た少^{せう}折^をり^して^は舊^{きう}地^ちと^なり
花^{はな}浴^{よく}縦^{じゆう}横^{ぎやう}の^は糸^{いと}助^{すけ}成^{なり}分^{ぶん}
羽^は二^に重^{じゆう}と^いふ^ふ思^{おも}ひ^は童^{どう}
案^わ内^{ない}の^は糸^{いと}を^もと^りて^はや^りて^は
之^この^は八^{はち}郡^{ぐん}廣^{ひろ}博^{ひろ}博^{ひろ}地^ち
聊^い寸^{すん}毫^{ごう}の^は中^{ちゆう}へ^いる^ま
の^は今^{いま}又^{また}織^{おり}物^{もの}と^なり

南小の奇境系抄目次
 編一東西の宮壇成を
 古例の現然たる謬傳の
 傷一ふれ書しの素一
 志賀の山極多んごき
 まを備留と題するもの
 本りり千河え祿才二歳
 仲比於洛下町尻永昌坊
 廬舎有序孤松子

京羽三重城巻之目録

- 山城奇境 付隣國の法 三十一頁
- 山城郡名 付伯米負教 四十一頁
- 八郡村名 付伯米負教 四十一頁
- 遷都時代 付諸方面道 五十一頁
- 京師七道 付諸方面道 六十一頁
- 東面大河 付大井川 八十一頁
- 東面二京 付町敷坊名 十一頁
- 帝城二行 付皇居時代 十一頁

經營事實

十二目

當國禁裏

四目

當國宮制 付諸殿間尺

十三目

洛陽戶數 付男女員數

五目

山城境界

十五目

四方念

十六目

四方天宮

十七目

上下出露

四目

東北院

十八目

將軍塚

四目

市姫社

四目

羅塔門

四目

白川池道

五目

四際封境

四目

多の松

四目

関戸

六目

大路方

四目

園分寺

四目

三條橋

廿二目

五條橋

廿二目

洛外道積

付家ねきね
領下名

廿二目

五山刹位

廿五目

六勝寺

廿五目

四季抄事

廿二目

諸説各目

廿六目

京形三重織函巻之一

京形三重織函巻之一

山城奇境

國名凡六記云山城
舊書云北月延喜三

年七月北月改城の事

凡山城西山枕山嶽除東南

常流河阻地指廣洞風氣

和暖田宅を鏡行して民安

居此地をわ中安味

刻して中いあわ赤朱雀坂

玄氏大青石右白虎口神相

鷹一方世不易此靈境

曰方北山皆内いひては

ゆむ外いひい山と氣委く内

帝都いかりあつ

中華金陵并首山此別

金陵いひるい

山八里校南八丈和河内北境
 山八里程十七八里餘東八道江
 嶺北より西八丹波接海より
 して間五六里或七八里分
 び集り乾のり地畝を以て
 廣く良のり地勢隆起源
 唱朝殿山階重任のり時奉
 て河陽北離宮と國府とを河
 陽山山崎なり

山埴郡名

村數
 付秋米負數八郡

延喜式并源順和名抄記

山埴郡 合五十八村
 久也郡 合二十二村
 秋米貳万二千二百九十四石零

紀伊郡

合三十三村

秋米貳万四千七百九十四石零
 紀伊郡 合三十三村

秋米貳万五千七百九十四石零
 紀伊郡 合三十三村

秋米貳万八千七百九十四石零
 紀伊郡 合三十三村

秋米三万九千七百九十四石零
 紀伊郡 合三十三村

秋米三万五千五百七拾石零
 紀伊郡 合三十三村

秋米三万五千五百七拾石零
 紀伊郡 合三十三村
 秋米三万五千五百七拾石零
 紀伊郡 合三十三村
 秋米三万五千五百七拾石零
 紀伊郡 合三十三村
 秋米三万五千五百七拾石零
 紀伊郡 合三十三村

と入内... 村おん現に
ク名... 不記
八郡村名

八郡村名

乙訓郡

大江

羽東

葛野郡

杉頭

喜中

多田

赤石郡

藤余

下田

多戸

紀伊郡

長田

石原

山崎

物集

石化

大堤

川崎

下林

林

栗中

小野

豊岩

大里

大里

深之

新井

訓世

板中

山田

上林

林

上田

上田

上田

上田

上田

上田

上田

定宿郡

宇治

餘戸

久世郡

作

那

那

綴郡

山本

志摩

甲

相宗郡

相良

蟹

大園

小野

山崎

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

那

右八郡... 村名... 相宗郡... 大拍

遷都時代

右記云 繼體天皇

遷都山背有筒味 同十三年三月

遷都於隨園 云云 按筒城ハ

今此綴在郡山 隨園今

此ハ訓カハシ又 宣化天皇

乃沛之郡と山城の國不

ト云フ事ト云フ今云云

たカカシト云フ事ト云フ

冬十二月郡と相樂此郡

細之也ハハ茶仁のま

或又久通ト云茶仁久通

倭音同ト云フ時ハ同稱ク

説云久通此郡ハ古

神此歸トありト云後

天皇又都と振州郡ハ

桓良天皇延暦三年

郡と山城乃云ハ判郡ト

云々ト云ハ判郡ト

後二位者行継ト云ハ

而ト云ハ判郡ト

月己酉都と云長ハ

ト云ハ判郡ト

勅奉儀近侍中ハ

幣ト云ハ賀茂神社

郡此事ト云ハ勅大

皇麻呂大天年紀ハ

賢深ト云ハハ判郡

ト云ハ判郡ト

今此京城色カハ

降 帝嗣三十四月

八百余里ト云ハ

乃ト云ハ判郡ト

ト云ハ判郡ト

ト云ハ判郡ト

ト云ハ判郡ト

京師七道

村法方の間道

凡四方より京師へ入る者
乞と七口よりして流るるなり
此に至るなり

東三條 伏見口 ちね口 七条御所
右七に在り今よりおろして京師

繁業日といま月には人なれ
ハ七に外京師へ入道者不

あわて人馬住来山付たり
間道

新三條 八條九里より山あり

志架野 東山九里より傍軍地あり
山中越 山内川より山越と傳へは初

大津一かよ道あり

右三條 一索寺村よりひえい
如意越 流東如意寺あり

小園越 下栗田村より山あり
津島越 清水山の南大佛前の東

山神より山内大佛あり
橋よりわい道と傳へは

あま越 若三條れ橋あり
栗田口より山内大佛あり

津島越 清水山の南大佛前の東

山神より山内大佛あり

あま越 若三條れ橋あり

栗田口より山内大佛あり

津島越 清水山の南大佛前の東

勸修寺村にありては(ある)乃
山崎乃 東寺北南角橋とて
て山崎の寺に成川部山とて橋
乃とあるなり

為徳越 老代坂の山より丹波保
津村にありたりは坂の津より
右にありて西の寺の神と号し
て冬に雪の山に普賢院と教
云ひてくは京師と遊丹波より

越たすは道なり

松の尾越 海西に尾乃南に山
乃とて丹波にありたりありて
道に山に細き乃ありて丹波乃
國保津より水の尾村の南とて
溪谷より出る道なり元來推定
往來の道なり姓清天正十の
六月二日の音日向と光秀謀叛
丹波に居りて謀りて軍勢ハ

乃の坂より光秀只一勝は
乃よりわかれ川より軍勢あり
坐す道とて京師本に能くは
旅籠より押し也遊は織田信長
と殺すは云見しわははるの
智の道と云

▲は外廣沢の池の西に乃あり
山崎とのわけて絶頂と京見
津に云是又丹波の山と云
又乃雄と松乃尾の山丹波
わは道ありは海小なり山
より別名村と悲山より丹波
山圍よりありたりは乃
しり乃殺の小溪(圖)る乃
東八津乃山より遊は山と道
あり是と朽木越と云は道
山味味ありは山城遊は乃
東よりわは外間乃捷徑あり

新考すく大槪記

東西河 付大井川

花洛れ事あにゆる川れ川あり
東と西は幾川に号し一と号し
とわつ方雲が細村もわがし
あ上村とる下下れ西は幾川
は流りたる川標の川の
アれれの森れ南して島中川
といとる一合し流る依りれわ
る川合しと二条川系三条
れ橋下とる大和橋の西下て
白川と合し五條の橋下とる伏
見小入宮橋川と合し一合れ
橋の下に流る此橋の付は
お海に入は川水とて清し自
比中集(溜水)の流る又東の
中川は川の流れがわ西川

あり埴川と云ふと流る二股川
よりかざし然るありと橋
つり九条とる行田と出ると同
大小れ橋ありとありは川中
賣下と賣買れ橋破損しは不
可し改令道と中と賣の
橋は公方家入は乃時二条の
城しり禁裏に入ふる為ふ
アは中一織浮るも多ふは
川入アは川入はあきよとす
是又極水れ流る合とる名
平は外二条川系の流れとて
川系所し橋本所とのるは人
と通とる分河ありとる長
秀吉と大佛殿造受の特
織と吉田と意と云ふあり天
竺の承流とてわが川と
廊てんてりて高津舟代と

うら先伏入るるを枝本と川の不
とく減るは後人のたすけ甚たな
りしとて今にまで毎日不
ふふふの材本薪炭支物不

可勝救

又河津あわし山は林原にあり
まゝの母の山國れ京小川
流すお日受保津を流すは
雨と出るなりは流すそふ大井
川と号し梅津の茶うそ梅津
川と云かつしは里にては桂川と
も多かれは川にり本津川と
合さるる雨と柳川と云ふ南と
山崎川と云ふ廣津と云ふわてを
あま津と云ふは河内はなる
凡は川母の毒と云ふは流す
よむるのりる若くすむるを
り或は流すなり又例にたり

まらふしは船と云ふは舟と云
もを流すそふは若くすむるを
よむるたふふは流すそふは
万計にたりは艱難と云ふは
ては流すそふは流すそふは
意の心通しりわて今に流人
りしとてけこたりしと云ふは
海しりしと云ふは

東西二京

付所救坊名

いみし南東九重條の時東西二
京あり東と流陽と号し西と
長安と云流すそふは中華と云
これと云ふは西の飛州ありて
流陽と云ふ東の飛州ありて長安
ありて流すそふは中華と云ふは
ありて流すそふは中華と云ふは
ありて流すそふは中華と云ふは
ありて流すそふは中華と云ふは

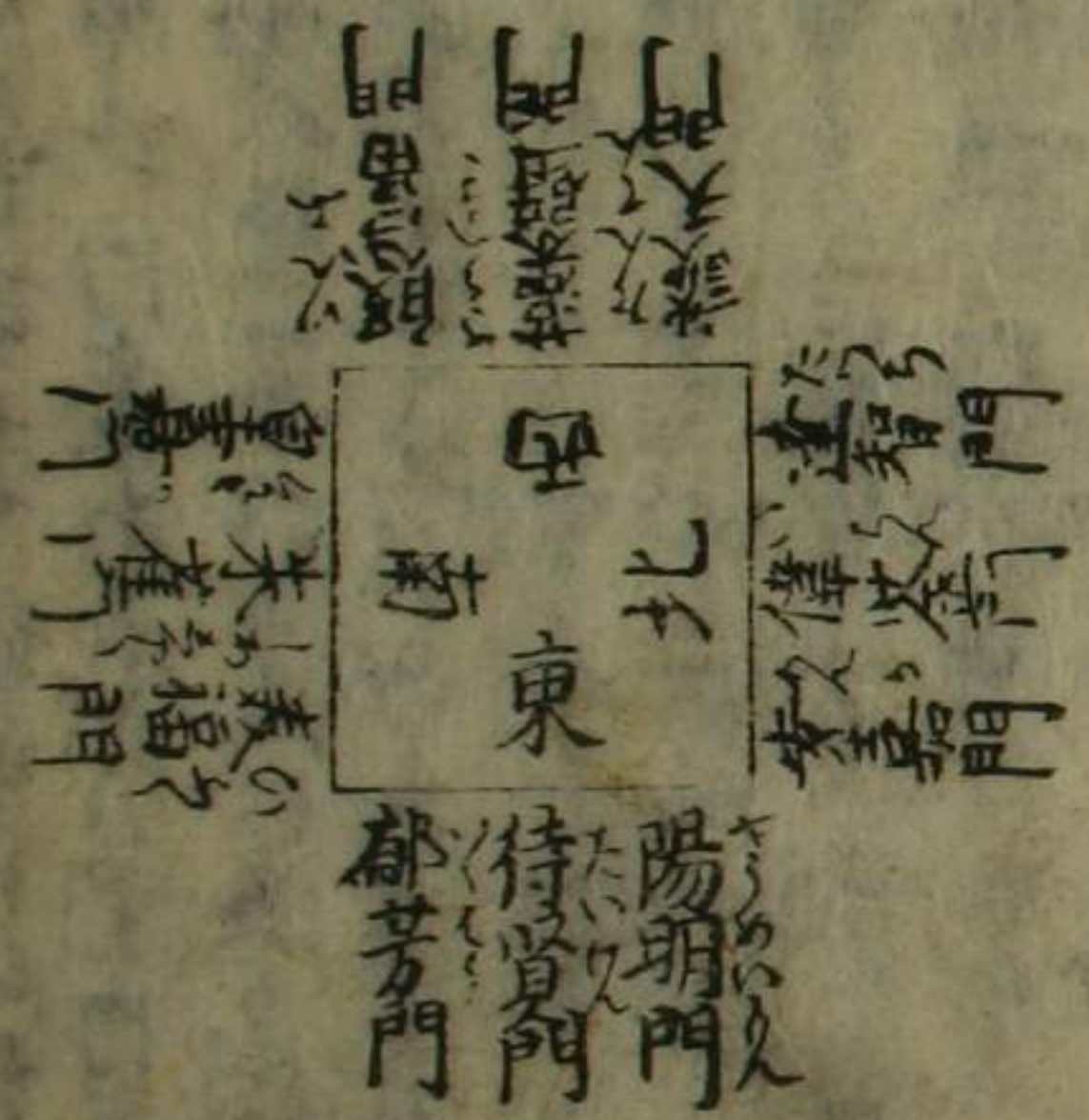
五万二千八所 西ノ系ノ文曰ノ系
 七百五十八所 右系ノ文曰ノ系
 乃び會津城凡二百三十二所
 乃り内東部凡二百三十二所
 乃り内西部凡二百三十二所
 乃り内南部凡二百三十二所
 乃り内北部凡二百三十二所
 乃り内東部凡二百三十二所
 乃り内西部凡二百三十二所
 乃り内南部凡二百三十二所
 乃り内北部凡二百三十二所

一条 桃花坊
 二条 洞陀坊
 三条 教紫坊
 四条 永昌坊
 五条 宣風坊
 六条 宣風坊
 七条 安成坊
 八条 崇仁坊
 九条 陶化坊
 又此後の町一条より九条まで
 合三十八町東西ノ文曰ノ系
 の家も多し多し田畑も多し

ぬれ坊し荒廢口り今も湯坊
 門通八捕号け坊の田畑多し

帝城上門 付皇居時代

桓武天皇善野郡遷都ノ
 後中古一条より南二条より北
 西大まどかより東西南北周廻
 六里門と建ふるより一里り迄



▲凡天門裏九千坪田畝の後藤氏
 而に内裏あり或は室中裏云
 今此禁裏の地形に三つに分る所
 此内裏の地形概おある事と云
 うれこと 官舎とけふに定め
 ありし事つづきの御所とす
 院後山院の御所とすにけふ
 とも事ありしけし文のたこ
 唐子二月世おさまりては
 後柏原院室町ありて去中門
 の内裏よりわかれさき今内
 裏の正親町去中門のありさ
 ともこととて是に款所の内裏
 とおしりし事ありしこととて
 仁礼礼後よりありしこととて
 と存じ織田氏よりありしこと
 秀吉の相改めりて三つに

後水尾院の御所とす藤原
 内の子ありし事ありしこととて
 つらては 後醍醐天皇より後
 北條景家より朝廷の式部
 と起りてありしこととて
 ともこととて是に款所の内裏
 とおしりし事ありしこととて

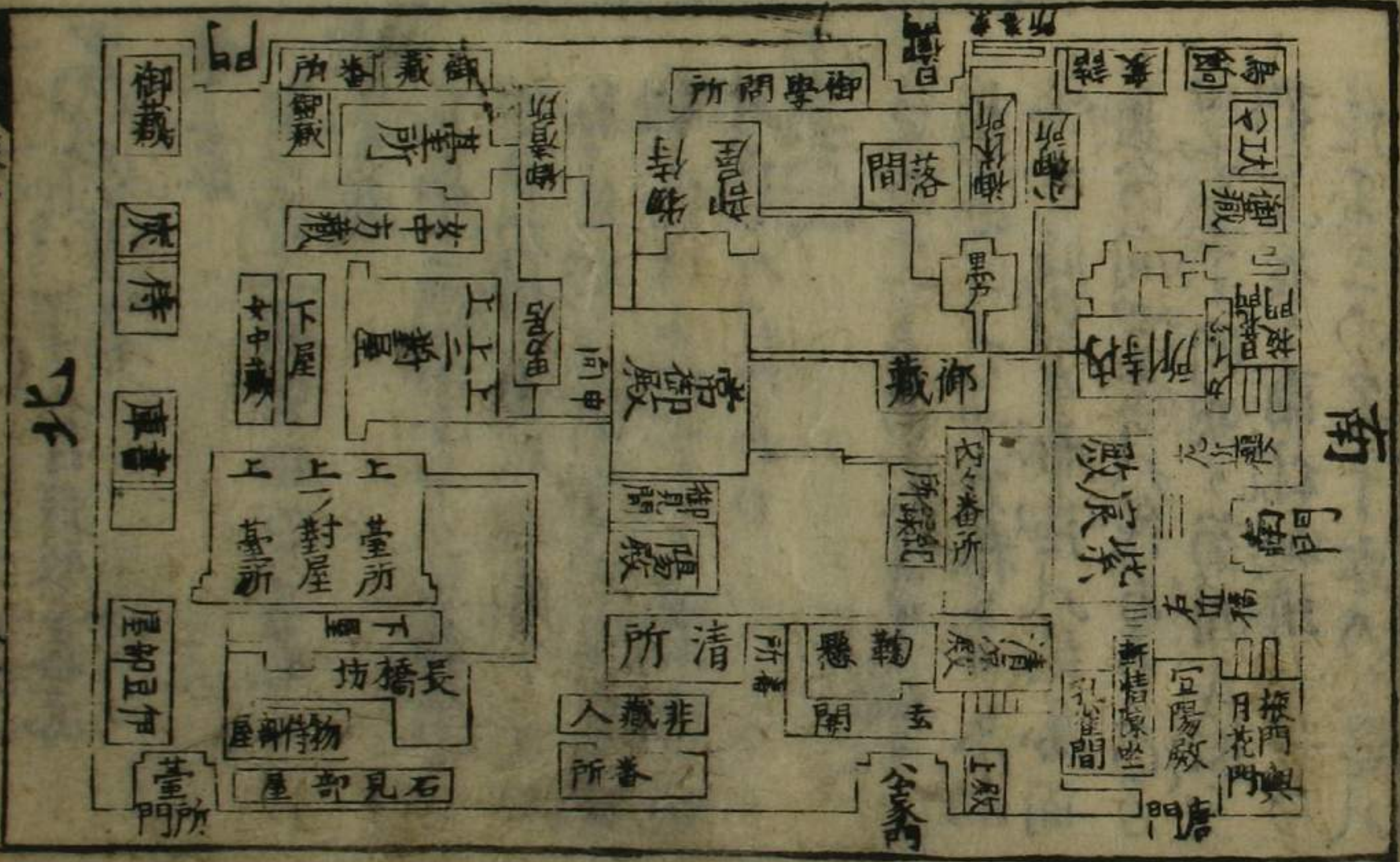
経済事實

凡東洋經濟地とひてあり
 け東洋の中央よりありし事
 小島とてありし事ありし事
 横濱の港ありし事ありし事
 とありし事ありし事ありし事

穴の東西南北の街と接所と
 云南の北の街と縦所と号
 北の東の街と横所と号
 北の西の街と横所と号
 北の南の街と縦所と号
 北の北の街と縦所と号
 北の東の街と横所と号
 北の西の街と横所と号
 北の南の街と縦所と号
 北の北の街と縦所と号

南時林小夏景

▲宮内林中品所記
 後光明院御宇景式也
 禁外の方角ハ各家所ニシテ
 新院水ノ方ハカシクハ心母
 仙洞南ノ方也



尚侍之制 付諸殿々各為

禁裏

南小百十間東西百二尺也

紫宸殿

東西十間南小分五板敷りて
四方板椽(南殿)と号して又
昂位等れ儀式よけ敷と自
聖の降子納とて流津椽
此板等々は給あり

清涼殿

東西十一間南小分五板敷りて
板敷りて四方椽を東白
流上殿の君帝座は後局同
奥の間四未此給あり二の
日坐(中)と明り菊月(左)は
草山(右)と蘭林和漆り梅乃
後局三乃南十間乃

乃山同十三の尺は板の
竹は虎舎花鳥の給板は
吾王梅竹等々は板敷り
雲雲(鳳凰)は板敷り西
すは免松よを給板りゆか
あの給あり

殿上の間

東西十間南小分五板敷りて
流上殿との給りて小板敷り
織原新伝(板敷り)ありハ
けふやわら給り柳子に杜母那
田(鳥)あり果あり人か
地下の人けふの給り

常侍殿

天子は常侍あり東西十間
南小十間南小分五板敷りて
流上殿は板敷り流上殿
とて流上殿は板敷り

あつし上原のふるよ竹篠の七賢
人中後山崎四老下原より

九せうかきり
津島同不

高石より南東北四面を境に
津島乃原かきりなり

洛陽の教 并男女負教

延慶九年九月に洛陽に洛中
に氏家公儀乃諸役より
かきりの家敷合四万七千石
男女敷敷五千方七千五百石
持嘉裏院中乃に法家以外外之
公儀乃外敷敷三十八所戸
五百四十五石大佛の茶六八所
戸七百廿石三茶のくく茶六
所戸二百二十石東西に茶石
坊前六十四所戸千四百石六十九石

かわり凡空津ち田封戸と際て
下子三百餘所戸三万五千四百廿
七石に外東に海東所より下
粟田六所に東に新所智恩
院門茶より川所石垣所福園
所八坂津清水坂西に聚茶よ
り中津紙谷川に南に建仁寺門
茶より東に飯茶の茶より下
今出川系より下西に小柳系
此外に金倉白井安房院の茶
より下敷敷茶より下敷敷茶
より下敷敷茶より下敷敷茶
より下敷敷茶より下敷敷茶

山城境界

白川より東に里より西に中
宿あり宿あり茶のりりりり
より西の石地茶あり一ツに別

ふむらふ二つに城ありむらふは
山城道にありむらふ

▲山科由良の東系より此邊
分見近江山城の境あり

▲上北院跡と云ふ所の同山城を
このまゝいかり

▲山城方小舟子村と云ふ所は
むらふに山城ありむらふ

▲後の南橋より南へ合橋と云橋
ありむらふ河内ありむらふ

▲八幡山の麓洞のより西
ありむらふありむらふ

▲河内のふらむありむらふ
ありむらふありむらふ

▲分る山城南よりありむらふ
ありむらふありむらふ

▲此山城河内ありむらふ
ありむらふありむらふ

▲ありむらふ山城はのふのまの
ありむらふありむらふ

▲むらふ山の十二里ありむらふ
ありむらふありむらふ

▲むらふの寺ありむらふありむらふ
ありむらふありむらふ

▲本陣川北南山城ありむらふ
ありむらふありむらふ

▲四方宮ありむらふありむらふ
ありむらふありむらふ

▲徳護と云ふありむらふありむらふ
ありむらふありむらふ

▲東山宮ありむらふありむらふ
ありむらふありむらふ

▲西山宮ありむらふありむらふ
ありむらふありむらふ

▲ありむらふありむらふありむらふ
ありむらふありむらふ

列山号と安念山と号す
元正天皇の御代に降る禊
祓此因基云

山名念山 流石念谷此を隣り
三井寺此神門に安念相院は此に
住すたる云

南宮又念山 傳云東山而此安念今
こそ不分明なり南方の安念と
不さざりてかきと一説云いま此の
南方八幡山なりと云れりとい
山八幡は神地ゆれば佛経に御
ぐくし按じざるにいりの玉柳
み君山の山城此の外の外なり
と云へりも南方ありて云々
をいひたれし鐘といふ山一細く
南宮念山と今鐘塚といふ
なり又 念山は伊勢勅に云々
御界と安念山と細く云々

今も今もあやまりて南傳る此
山と下栗田此東宮念と云
は此に鐘塚もなり又は此に
塔もなり獅子窟山に鐘塚あ
り又 念山は法皇の御塔あり
と云へりも此に南方に安念
獅子窟山と云々

四方大御軍社

傳云ありて平安傳此四方に大御軍
の社となす帝林此御護と云
皇と云まろりのと云又一説中
右争乱の時皇城の西方に蜀の
國羽此底に建冬と云と稱す
ハ横御と云はらつてなり

- ▲東の大御軍 長崎村と云
- ▲西の大御軍 西の京と云
- ▲北の大御軍 大垣と云

▲南の大お軍 表拜も木ノみり
高江来の四院の西ガ
上下お零路

京小京極通の南山より下出
雲海あり 桓武天皇平安城
遷都三子の後赤の律より
を路れ一系乃小の親法也今
少社ありとも示と女之神所
と云よお零路下出云と落と
乃上寺町トち所ト云ガ
昔旧信教大所と地ト云ト立
て上にあると上出と云と是
下にもと下お零路と云寺
流法原はちありは花薄淡の
事時記ト云ト云ト云ト云
乃町ハ今相國寺ハ是也
後よあり小門ありと云
此通也

東北院 京極通今ノ村にあり

信々 桓武天皇平安城一帯
と云一帯の所信教大所ト云
て王様の鬼つと云と造
東北院と号一安ん此国ハ
しまの兵才夫と云人云
と云 坂の久田村九修造の事
と云 乃と云ありと云 後法性
寺ハ此國白忠通云は社と云
と云 乃と云ありと云

お軍場

東山お山頂よりあり相傳ふ
桓武天皇と平安城より云
ありありと云ハ是れ云偶々
甲野と云と云と云と云と云
城よびと云と云と云と云

城の遺蹟とありけり。是は元弘に敗
れし時ハは山がかりし守り動かし
ぬれしと云ふ。又一説云く軍場
ハ東山象海寺北山にありて
山の頂ありある所の塚ハ在る
乃陵なりと云

市郎社

傳云 桓武天皇の延暦十二年十
月廿日乙未を平安城にうつりて
ふりてまきは神と仰てて多路
川に勧請せしむ。今五條下
所今光孝の門に梅の俗に
は神賣買のちりしと云ふ。其
と也。又其社のたひらるる下

羅城門

東寺の南に平安通の南九又余道
北南面田畑のつらにともあり
是平安城の南門也。冷地の下六
尺をわたりてあり。の礎あり。東
寺の内より人堂より八層の
ひまやりの天に像あり。是羅城
門の本なるあり。又平安通の
西にあり。傳云 桓武天皇の長
男。又平安城の西にあり。是
たす。い。又殿と傳云。羅城門
と遺蹟ありと云

白河地道

昔日織田信長云。江州を去れば
あり。時。京師より。是。去。に。な
む。人。は。道。より。わ。り。は。し。り。中
越。と。云。く。東。坂。に。り。船。あり
守。り。は。い。今。も。名。残。り。今。も。川。に

しむ白川村に五丁を以て道と
被て並木此村のあきつとこれ
いふ一の道なり

四隣封境

その長秀吉云平安城は方々
くまのりともき所と極て京師
四方に封境とも今ある山麓
なるを乞かむを母京師の民
が穢染榮あつてあつたに極
益とけいへ一東方に封境は
此より行く板倉内膳に延延
京師に司する此村か又河川
の西をあたるとる地と築て
東方の懸防とせり

志羽逆乃

と云ふのころり
よるのりもつるねといふは

是とて遠道と云ふは云々良親王
彩の敷賀此音鳥羽に造り
乃よりあつといふまうと東郡玉
光よりん一り地と云ふは遠り道の
稱号かかりつるものまは
久しとれども此の地は乃と
いふと云ふまうと云ふは

関戸

大山崎北南ありは信長云いふは
不三突とてて此常といふは
依りて関戸と号とて古一氏の
主とす位とゆはつて院とて本
一かきううといふは一関戸の院
の号あり又本懐此里に関戸
つて是といふ一本懐の関とて

大谷方

おちらうと

凡そ諸人此東三宮ミヤのつらつら
とらるる路と長寺チヤウジのしんしん
字派ジハあり本體と經て東都
ある乃道なり今も人あまなり
ておちかこと云延喜式エンキシキの
字派ジハあり神社ハ別大徳方オホトクカタ
國分寺クニヅミ

三々橋

三條東が又河川此とあり凡東
小より東陸入りのかきしめて

一と海と破損とに 二方
一と修造わら俗と云後橋と
えは西より小なりあり伏見は東
の島嶼舟は河水とひきのやす
大橋小橋なる中橋と号しけ
名は遺還旅人のくま宿なり

五條橋

五條乃東也又河川ありは橋
後小松院應永十六年オウエに
修造あり始に破損とに清水
と此に本願成就院今も人
とあり法人の米沙とて修造
とるものなり中世は長秀吉
とけいりあり大に造りありて
しり今にありて 二方あり
修造あり凡南方よりとる味
よあるものおかしげなり

入は橋 後光の院正保三の二
始て石橋とありし寛文二
年大地震に破壊して今も
板敷とあり

洛外積

付家敷を領地
秋葉石を付

洛外市此ののりハ東三條河原橋
より此ののり下瀬

上馬村

五所此合を
四十六所拾八

▲東西八所南小拾九所

▲家敷合三百六拾七所

内 三百五十六所ハ 百姓家

内 拾一所ハ 寺

▲石馬式千七百拾式石五十九合

下馬村

五所此入口と六拾
九所五十二所但上馬

村南此口より下馬村此入口と
拾所五十九

▲東西七所南小拾五所一内幅平

の川あり又長毛所五十六所此を

▲家敷三百五拾

内 三百九拾四所 百姓家

内 拾一所ハ 寺

▲石馬式七百四拾七石五斗七合

松尾

道は二里中九所十七所

東西五拾六所南小百五拾八

松の尾社内此分あり

▲家敷四十六所

内 四十二所 百姓家

内 三所ハ 社家

内 一所ハ 延福寺の堂

▲石馬式百九十八石四斗六合八

内 式百石式斗三斗 松尾社

谷村方名村

大石四百廿七石
毛里拾三所
四十一間

南山三所
四十石
东西式町二間

▲家敷六拾七石

内 又拾五石八

石性在家

同 七石八

社家

同 五石八

多産

▲石三百九拾五石
斗六石六合

内 式百六十五石斗半

松尾神社

同 式百一十石余

堂上方

同 拾式石四斗余

相宗寺

西芳寺

熱門寺を毛里廿二所
寺地东西百八石
南堂七間

同 井家敷八石
斗七石五斗八斗

但云天珍寺
清朱下北内

西石倉合名

三里十七町

東西拾八所
南小六町

寺家三坊
天台宗比叡山末寺

坂中村

村口より三里拾五町
东西廿八町
南小六町

▲家敷四十七石

▲石三百拾二石七斗余
堂上方

大原野

合口より式里廿四町
东西廿二町
南小七町

▲家敷百廿二石

同 七十石八
寺あり

▲石三百六拾九石三斗二升

内 拾式石八
春日神社

同 六百五十七石余
堂上方

三津寺

四里走町
東西三町
南小八町あり

▲家敷廿七石
内 式石八
寺あり

法寺此處あり

▲石馬百三十九名九合道三所

日向神

二里あり日向神
境内東に南小四町西

のく南小八町大同小のく東西
町十ありあり

▲家敷二十石

▲石百七石但ち之村は何ふ

日向神此神あり

栗生光院寺

三里三町

▲東西六町南小七町

▲家敷貳拾石

同貳拾石 寺

同一石八石此社共社大の神

▲石百石拾石余斗 堂上方

勝法寺村

小川入口三里五町
東西拾石町南小九町

▲家敷七十石

同廿三石 校郷久貝村あり

同五拾石 寺

▲石馬千六拾石七石

西梅村

梅は上山田村より
一里半五町三町同梅

入口より八里十七町あり

▲東西四町四十七町南小六町

▲家敷合廿七石

同九石 社敷

同一石 寺

外ニ堂まをケあり

▲石馬百八拾石五斗七石九合

同五石 梅の宮神あり

同百石 堂上方

同三十石 南禅寺あり

同廿六石 長福寺あり

同四十石 桂川院あり

東梅河村

入口より三里十三町
拾五間是より桂川

より下場より三町半あり

東西拾四町南小六町拾五間

▲家数九拾二軒

内拾軒ハ

梅之役人の家

外七軒ハ

草菴極堂あり

▲石高千貳百五拾八石斗余

内六百七十七石斗余

堂上方儀

内三百五十九石斗余

本福寺儀

内貳百六拾六石斗余

南極寺儀

内三十三石斗余

慈地

下桂村

東北合と三里十四町
東西六町七間外より川

あり南小拾貳町あり

▲家数百六拾

▲石高千貳百石余堂上方儀

上桂村

一里廿二町五十五石松原
一里拾三町四十町あり

▲加治川の幅を町十間あり

▲東西七町西十間南小九町八分

▲家数五十八戸外二四ヶ寺 寺あり

▲石高八百四十四石斗半斗余

内九拾四石余

内七百五石余 堂上方儀

上久世村

船海より三里六五町
并より一里五下三町

▲東西十二町南小六町

▲家数九十五軒 内寺二ヶ下あり

▲石高九拾四石七斗八分

内五百七十三石斗八分

堂上方儀

内貳百九拾石

相國寺儀

内四十九石

大徳寺儀

下久世村

在石高千石三里廿二町

▲東西五町五十間南八町

▲家敷廿五町 中つらあり

内七ヶ下 寺あり

▲家敷廿五町 校にあり

内七ヶ下 寺あり

▲石高千五拾九石五斗六升

右御金入并ニ堂上方の銀あり

久家

西村 久家より一飯と武里

飯はくさ村山の入

口すて七町五斗上村系に八ヶ下

是町五十四町あり

▲東西九町南小拾三町 内つらあり

▲家敷百廿二町内四ヶ下寺あり

▲石高千九百五石七斗九升

内七ヶ下九石余

日七石石余

日六石四斗余

堂上方の

八懐飲

妙心寺

南門前と廿五町

境内四町四方

▲家敷百六拾九町

▲石高四百九拾石 妙心寺の

沖室

南大門と廿四町

▲内亦東西三町拾七町南小三町

▲家敷九十町外ニ寺式ヶ寺

▲石高八百八拾石七斗余

内廿五石三斗余

日百拾石半斗半余 堂上方の

日百四石

妙心寺の

日六百四石余

仁和寺の

日拾石半斗余

法金剛院の

平尾

八ヶ下と長きで毛里

廿九町あり

▲東西三町拾三町南小三町廿五町

▲家敷九十三町外ニ九ヶ寺

▲石高千九百六拾二石四斗余

内百四拾六石九斗余 言雄山院

日三拾七石七斗余 菩提院院

日廿四石六斗六斗余 林春母院

雄

式里拾七所梅尾(式里大)

太卷

町梅尾(式里十五所あり) 松尾院(式里五所あり)

▲家敷百七拾三石(外寺拾七あり)

▲石高千八百七拾石余

内千石 堂上方院

日百七拾石余 大徳寺院

日百石 二堂院

日百石 廣隆院

上湯

大覚寺(式里五所) 東西四町拾間南田所

十三石

▲家敷百一十石(外寺四ヶ所)

▲石高千九百六拾二石四斗余

内千石 大覚寺院

日六拾九石五斗余 仁和寺院

日七拾五石 蓮花院院

日百拾石三斗余 二堂院

日九拾七石 清涼院

日三百八石九斗余 天徳寺院

日百石七拾石余 堂上方院

下湯

天徳寺(式里五所) 東西四町世間

▲家敷百拾石(外)

▲石高百四拾九石六斗九斗六斗余

内式百拾四石三斗余 天徳寺院

日廿三石六斗余 仁和寺院

日百廿六石六斗余 堂上方院

日廿四石六斗五斗 八幡院

日八斗四斗七合 二堂院

法輪寺

去里寺拾町

二馬院

去里寺拾四町

月輪

三里拾四町

草野

三十町東西七土間南
北七十町

等持院

北九町東西四町二十町
南小五町之間

▲家敷七拾三町 外寺之个所

▲石高百廿四石九斗半三合
内式拾四石九斗半 仁和寺
日石石 等持院

金閣寺

世間東西三町七町南小
式町拾間

▲家敷八拾三町 康死寺
▲石高三百五拾石

氷室

校字々々五里拾町東西五町
南小廿二町

▲家敷拾四町

万壽寺

式里居屋三里東三町
長坂寺(去里寺七町之)

▲家敷五里拾九町八町

上野

去里四町東西八町
南小三町三十五町

▲家敷五里拾四町寺廿一个寺

右高式千六百七拾石六斗余

内式千五百七拾石 加茂社
内式石余 堂上方殿

日田拾石余 非久人殿
日廿七石五斗 松梅院

大佛

仁王門寺三拾三町廻廊
東西百間南小百六拾五斗

大門

小

七

妙法院 四町三拾三町智徳院
三十八町忠徳院 卅六町

法雨寺 外町四拾三町東西六町
南小寺町家敷三十四町

寺敷二ヶ所石拾四石四斗

泉涌寺 大門四拾五町東西拾三
町拾六町南小九町寺十

七間寺敷拾五ヶ寺門前家敷合
二十六町

東福寺 小の門四拾町東西九町
三十八町南小拾二町四町

門前家敷二百三十町寺敷八ヶ寺

稻荷 小前八町三ヶ寺東西
廿二町四十九町南小三町

社家拾七ヶ家敷百拾五ヶ寺三ヶ寺

▲石高五百五拾四石斗余

深草 四拾八町東西七四町南小
廿三町

▲家敷千二百五拾町但伏ヶヶ

▲田 百五町 百姓在家

▲寺敷拾六ヶ寺

▲石高式千七百七四石余

菱の森 六拾二町東西六町南小
三町社家十八町

合人三毛里守但仲小海邊

竹田

合人三毛里守但仲小海邊

一町又東の同院通り

七毛里廿五町あり東西八町四十五町

▲家敷百八拾町

▲石高式千一百五石余

山科 西栗田口境まで三拾五町
東西七毛里九町南小丈

拾九町

▲村敷拾八ヶ村家敷惣合六百五町

▲寺敷四十六ヶ寺

▲石高六千五百五拾石余

西冲村

之里六四町东西三町三
十间南小六町

▲家数四十六軒寺七ヶ寺

昆沙堂

佛門亦小間を之里無町

木嶋

ノ口まで二里共八町东西三
十之町南小拾町也

▲家数九十一軒

▲寺数六ヶ寺

▲石高七百六拾九石半余

又洞底

万福寺門を三町半八町半
匠文亦地九万坪外山林

あり寺九ヶ寺南傳流屋三ヶ所

五ヶヶ家数九拾五軒寺六ヶ寺

▲石高千石五拾八石余

勸修寺

村を二里七町东西拾六
町七町南小拾七町十二町

▲家数三十五軒外寺五ヶ寺

▲石高八百三拾七石余

上醍醐

三里十三町半东西七町
半南小貳拾町拾五間

寺数拾五ヶ寺中方六坊下法味入

拾五軒あり

下醍醐

貳里共三町半东西九町
三拾五南小拾町四十間

▲家数貳百六拾軒

寺数十六ヶ寺院家二

里寺五ヶ所

三室

三里九町北七町半东西六七
町二五町南小八町半二五

傍家渡

五里拾六町下は谷の渡
四里封をぬく一三里半

八町飯丸畷をぬく七里富中後

寺を五里菟渡村を二里七町

寺を六里共五町山本をぬく二七里

本村の海を八里拾四町

葎村 一休の寺を七田より
石三十八百三拾石五斗

宇治 六里半の海に如を
拾里半の海に十二里

智恩院 惣門を式拾町西
三条縄を限南山一町

余東流ハ山を多にして山科限南
小武町南ハ蓮院ハ欽丸山祇
園限東西拾二町小全ハ蓮院ハ
限限東西拾町余

▲門前家敷百五拾町
▲石高七百三石式斗五斗

門五石 方丈
日二百五余 月役者

栗田

蓮院門を式五町
東西拾式町南小全限
方して五町東北方式町

▲家敷百九拾三町 外寺八ヶ所
▲石高千三百廿五斗 蓮院

南禅寺

外門を式拾町
東西四町余南小七町余

▲門前家敷拾三町 南禅寺
▲石高百拾三石

若王子

惣門を式拾町七間
東西五町拾拾町南小一町

▲家敷三拾六町 外九ヶ所
▲石高七拾五石半 若王子

黒谷村

惣門を式拾九町二十間
東西拾町南小拾二町十間

▲家敷三拾六町 外九ヶ所
▲石高百三拾石 二ヶ所

津守村

入石を式三拾七町五十二間
浪岡寺を式拾五十七石

▲南小町五拾町東西十五町

▲家敷百拾式石外三之間寺あり
石高四百拾三石斗余

内拾石六斗六寸
日百五拾石 麟祥院

日廿五石 墨谷

日四拾三石 永観堂

日廿七石 智恩院

日拾石斗三斗余 大徳寺

日百五石 玄徳寺

日廿五石六斗五斗余 梨木

日三拾石七斗余 勘留

吉田村 吉田村の川上五拾七町東西
拾五町計十一町南小町世間

▲家敷百拾之形 内八町社敷
外二寺六ヶ寺

▲石高七百八拾之石 吉田
内五石九拾三石 吉田

日六拾式石八斗余 勘留

日廿石余 吉田

日廿一石余 赤塚

日廿一石余 小沼

永観堂 南小三町式拾石三斗東西二
町五拾石斗五寸

門前在家式拾之形 内十町石斗五寸
▲石高百五拾八石七斗余 永観堂

▲家敷百拾之形 外二寺三ヶ所
内五石斗五斗余 妙法院

日六拾三石斗余 堂上方

下鴨村 入口三拾三町二斗七間
南小拾六町拾石斗五斗東西二町

▲家敷百廿六町外二斗五斗社敷

寺四ヶ寺

▲石高千八百六拾石名正余 方二合組
内五百四拾石 社欽

一乘寺村

下り松と四拾六町掃部
古城山と六拾町之内

九町水坂道但一乘寺より正寅一
わくる古城山より申此方にあか
山此内より平藤城山あり古城山より
さくさく一六町は月八名あり

東西拾八町南九町四十五町

▲家敷八拾石 外二六町寺

▲石高千八百式拾石名正余

内七拾六石七斗余

同千六百七拾石余 堂上方合

同八拾石 梅尾合

同廿八石 高権合

同六石 東山院

同四石 福勝院

同四石 女田

同三石 芝菜原

同三石 秋中遠場

同三石 了音寺

同三石 淨福寺

同三石 六新院

同二石 夏通水

同二石 池坊

同二石 妙成寺

同日石 永成寺

新原村

武里無町三丁より東西を隔
北七町十分南少四三町西

▲家敷四十二町外二十町社敷

寺五ヶ寺

▲石高三百九拾石名正余

内百七石七斗余

同百石 堂上方合

同百石 南院合

同百石 金地院合

大石村

東邊院村之三里共一町上二町
東西二町四十五間南小田表前

甲一六間

▲家敷三拾六町外六寺

▲石高九拾二石斗 榎山門跡

草生村

三里六八町寂光院の門
二里三十一町中がら

東西二町四十五間南小田表前
六石

▲家敷四拾七町外七寺

▲石高百四拾石式先主余半井通仙院

戸寺村

二里六八町拾五町古表
八八四里二町を乃中東西

二拾町四拾五町南小田表
▲家敷三拾六町外三寺

▲石高百七拾石

▲石高百七拾石 榎山門跡

勝林院

二里六八町拾五町古表
寺北控のあまを二里九八

町四拾七町東西二拾町四拾五町

▲家敷三十七町外三寺

▲石高百七拾石 榎山門跡

徳摩子院

一里共三町東西二町
南小三町

▲家敷五拾六町外三寺

▲石高八百六拾七石合 堂上支組

五山十刹位

康曆元年十二月
惟摩麻花相國立

山十刹位次才と定め玉ふり

▲才一位聖龜山天龍寺 岩城

▲才二位萬年山相承寺 谷小

▲才三位東山建仁寺 徳園南

▲才四位惠見山東福寺 大佛南

▲才五位 万壽寺 日所

右禪家五山と号すと又十刹乃

次才七

▲才一位 等持寺いふ二条の南
高倉北東より今も後分は
不考也流るる氏公弟宅の地なり
今津市八幡と稱するは多氏公
家内又勸修寺と稱すは津社カテ
及二寺持する法也とす

▲才一位 天宮寺 天宮寺東南あり
加賀寺 加賀寺 麻苑寺の西南衣

▲才一位 真智寺 麻苑寺の西南衣
皇山乃うりたわらひるは多氏公
氏公の孫に傳る武彦を師とす
建礼寺カテ相國寺に屬とす

▲才一位 安國寺 始ハ西山にあり又
之方考ふれば傍に今寺ハ繼て
ふ一東福寺乃内永安院いふの
事とす

▲才五位 寶幢寺 一ハ越前守
一ハあり今寺ハ一ハ中麻生院
▲才六位 等持寺 一ハ聖一ハ雨あり

秀吉公宗春ノ宅に入御カレ
職時茶菓ヲ奉と候し是より茶
と候と秀吉公宗春ノ序の
茶とやむと候し是より候
とわら下と候し是より候
よは時わ例の九月辰と候の
是より候二つと茶也と候し是より

▲才一位 廣徳寺 二条の南宮町通と
新田乃乃にあり候と

了然とて是利家の治也とて
美晴と美輝と乃時傳領の地あり
甲より未だ同一とて是同一と流
ては此の地は居せり候と云ふ
茶の好むは一日と長考
若くは懐州郡の地あり入家の目
若くは道元宅に入御志あり候
若くは此の地は是れと云ふ
是れは此の地は是れと云ふ

まじりぬあひふにす秋う宅入
あふさうぬ糸糸に瑞しきりぬ
茶と飯の七まつこときききき
ぬり平心と心と心と心と心と
ぬり平心と心と心と心と心と
ぬり平心と心と心と心と心と

別荘地

せんしんやが
泉水教 山神宮丸文村にあり
いゆへん康親王の遺業
のありし田記がり記すへん
天白此記の末かりせとのまて
いふにありせに御所のまて
凡いふことありておと御て云也
の中はとにありておとありて
まもまもまもまもまもまも

柳の敷き日神

え日

- ▲第一玄
 - ▲今白しりし西日をいへん山東塔の依
 - 西會横川西塔の今白しりし三日と
 - ▲今白しりし西日をいへん山東塔の依
 - ▲今白しりし西日をいへん山東塔の依
 - ▲今白しりし西日をいへん山東塔の依
- ▲二目
 - ▲高橋大隅のあふ糸糸の切姫
 - ▲高橋大隅のあふ糸糸の切姫
 - ▲高橋大隅のあふ糸糸の切姫
 - ▲高橋大隅のあふ糸糸の切姫
 - ▲高橋大隅のあふ糸糸の切姫
- ▲三日
 - ▲今白しりし西日をいへん山東塔の依
 - ▲今白しりし西日をいへん山東塔の依
 - ▲今白しりし西日をいへん山東塔の依
 - ▲今白しりし西日をいへん山東塔の依
 - ▲今白しりし西日をいへん山東塔の依

あり九月九日

▲山王松梅院裏自造秋十四日

十四日

▲あさくし井家蹴鞠始

十五日

▲林下裏本道始同小妻方果

并ニ様薙木あり

▲東福寺北信司一平五百らめん

盃儀掛くら

十六日

▲山王ニ此天神申候皇天丈敷

▲高取寺方丈儀法

十七日

▲白馬第會

▲賀宮の神事朝

▲箕面山赤才天富礼とつく夜入

▲今日も十六日と云々燭慶堂

念佛とらま

十八日

▲今日より西日と云々修法

▲空也堂漆たき本初の後式

十九日

▲松浦今又えびと系修

二十日

▲上京柳系此神は毎月今初

▲廿一日の朝市内と供一甘

▲長家が定餅と云

▲山法會合と云々夜入

二十一日

▲南都こぐし心經會

二十二日

▲赤井本牛王加持法

▲安茂沖棚飾

二十三日

▲如文彦右候長并神事あり

▲安茂法流と云々用帳廿月廿日

十六日

▲晴久乃節云

▲永観堂より船ありてんごく

▲百万石念珠帳、五月九月の由

▲賀茂神社半市村

▲小舟五人まよとゆわ

▲小石ふらぐりまわ

十七日

▲終人の草津清治人并落の庵下
あり大隅高橋藩の勤

十八日

▲林喜恵左義長

▲山崎よりくも鬼 入

十九日

▲八幡厄神まつり

▲信長一人清心人白くり共あり
澤出に筒此本まははり

廿一日

▲今朝の世衣まよ酒と柳原の節

▲一供一七

▲大原ゆまよ夜更 終あり

廿二日

▲太泰寺徳太子堂法事

▲大原ゆまよつがみ 終あり

廿三日

▲東山寺まよ祝詞用帳五月九月の日

▲川崎まつり 松の庵辺

廿四日

▲中津は系此連系毎月今おじ敷

廿六日

▲下付林神まつり うちまよ

廿八日

▲西乃屋平が儀系 終あり

▲泉涌寺金利舎

卅日

▲法ある式を二奇 毎月日
▲律家布度此の法

二月

初春 ちんげんまつり

初子 春日入文系

初卯 大原神まつり

同日 八幡神祭 戊の特まつり
子のまつり

初午 いかり系華正祭まつり
法人系まつり

同日 東福寺飛鳥月夜歌詠
の儀三十三幅方丈にけし

春金至 けしけしとけし

春分後 いくとあぐけ

朔日

▲今日より四日と南都二月堂の
外法日業師の金式

三日

▲智恵寺の百万遍念珠出

四日

▲古の飛鳥寺を平法堂と志

▲東福寺此の五丈堂考字のついで
と出す門前跡此の門はもとあ

とく時ハ疫氣とのそきけり

七日

▲今日よりありと南都新の法

▲二月堂水の法 巻入

九日

▲今日より十五日まで子午大勢院
あて送教院舎智積院の勤

▲今日より十五日と白米海の全利
忙祿人係とくけ

▲貴妃又穀まつり

十日

▲中山天神まつり社人的と射ふ

十一日

△今約五日申亥辰の辰人東為南風
變食^{ハク}東西南北^{ハク}及金あり

十二日

△南都二月堂大續松

十四日

△今約五日申辰の辰人東為南風
とく才大福の神人像佛あり

十五日

△法多^{ハク}涅槃會

△大聖院縁供書

△法多^{ハク}涅槃會

△山崎たけしもの祝言并^{ハク}法基寺^{ハク}隆
法法慈惠大師此像同也

△松別天王寺^{ハク}茶^{ハク}茶^{ハク}茶^{ハク}

十六日

△盲人石塔

△本^{ハク}後^{ハク}古^{ハク}日^{ハク}甚^{ハク}上^{ハク}人^{ハク}像^{ハク}同^{ハク}也

十八日

△鞍子^{ハク}以^{ハク}奥^{ハク}峯^{ハク}定^{ハク}古^{ハク}観^{ハク}音^{ハク}の^{ハク}會^{ハク}式

廿二日

△松^{ハク}初^{ハク}天^{ハク}手^{ハク}吉^{ハク}を^{ハク}ま^{ハク}会^{ハク}の^{ハク}石^{ハク}の^{ハク}葉^{ハク}茶^{ハク}也^{ハク}
て^{ハク}伶^{ハク}人^{ハク}の^{ハク}舞^{ハク}あり

△太^{ハク}秦^{ハク}廣^{ハク}隆^{ハク}寺^{ハク}の^{ハク}聖^{ハク}徳^{ハク}天^{ハク}子^{ハク}會^{ハク}式

△如^{ハク}多^{ハク}分^{ハク}松^{ハク}の^{ハク}下^{ハク}家^{ハク} 後^{ハク}寺^{ハク}院^{ハク}也^{ハク}
朝^{ハク}寺^{ハク}院^{ハク}也^{ハク}并^{ハク}沖^{ハク}長^{ハク}縁^{ハク}又^{ハク}面^{ハク}也^{ハク}也^{ハク}

△山^{ハク}崎^{ハク}歌^{ハク}多^{ハク}の^{ハク}法^{ハク}侶^{ハク}水^{ハク}寺^{ハク}の^{ハク}所^{ハク}屬^{ハク}
と^{ハク}て^{ハク} 後^{ハク}鳥^{ハク}泥^{ハク}沖^{ハク}忌^{ハク}法^{ハク}事^{ハク}あり

廿四日

△江^{ハク}初^{ハク}比^{ハク}良^{ハク}八^{ハク}講

廿五日

△小^{ハク}神^{ハク}天^{ハク}神^{ハク}大^{ハク}神^{ハク}忌^{ハク}也^{ハク}と^{ハク}入^{ハク}西^{ハク}北^{ハク}東^{ハク}也^{ハク}
つ^{ハク}と^{ハク}缺^{ハク}ス^{ハク}供^{ハク}物^{ハク}也^{ハク}

△江^{ハク}初^{ハク}過^{ハク}的^{ハク}寺^{ハク}天^{ハク}神^{ハク}自^{ハク}他^{ハク}の^{ハク}像^{ハク}同^{ハク}也

三月

初卯 松尾の林寺出

中卯 江州之尾形能宗

中午 いかり此神也

中辰 南まらり

初卯より未日高松の尾形様より

付来り能あり

子午に揚子念佛普賢像祀

まらり此身又熱し

宇治此茶は

三日

▲抹茶裏鶏合

▲かえり神し

▲西松之修祭

▲江加乙山祭

▲日蓮宗まらり

▲泉源場浦高千

五日

▲一茶寺村天王祭

▲修子此祭山神まらり

▲高神村祭 終中まらり

八日

▲泉涌寺開山忌

九日

▲水尾まらり

▲修徳大念佛始

▲安楽花

▲高尾法花会

十日

▲井出此神新寄揚子の祭

十一日

▲今の高天名礼お海日吉八王子の

修徳大念佛始

十二日

▲高松寺 後高松天王院願わ

御願とて此人供し

▲蓮花王院 後高松院願向此

十五日

▲今日より廿四日と壬生会佛始
▲徳林寺智恩寺にて善因寺大佛忌

十六日

▲聖護院森徳神檀越祭

十九日

▲深徳院也神身わらふ

廿一日

▲東方仁和寺法王師下神祭供
▲高徳神護寺也祭供は日女会祭

廿二日

▲今日由日ひり二の文祭ありて礼
お講と修しと札お講と云

廿五日

▲二し依山丸神祭

▲南郡腰三寺文殊會

廿八日

▲比叡山丸山王祭神の儀候

四月

初卯

いかり祭

卯

江別八幡祭神輿立社
島ら川と海と

中辰

八幡天祭まつり辰二ツノ
時ハ始辰まつり余雀

中辰

向日の神祭

初巳

江別早尾祭

日

江別ぬり祭

日

山神まつり

日

山麓やの祭

日

久世まつり

初午

山いりまつり祭

日

江別菅まつり

初申

大原祭

日

早神祭

同日 初日 和列あへま祭

同日 初日 和列あへま祭

中申 日吉まつり

日 初日 伊豆屋園まつり

初酉 松尾祭

日 梅のまつり

日 くらまつり

日 和列あへま祭

中酉 伊豆屋あへま祭 翌日まつり

日 土解まつり

日 石解まつり

初亥 大津まつり

日 伊豆屋あへま祭

一日

△和列あへま祭

△貴船神事 伊豆屋あへま祭

△和列あへま祭

△和列あへま祭

二日

△南都水産能 至四日

△小倉の神事 山崎の道不

△調子村祭

五日

△神足祭

八日

△山崎天王祭

△あやめまつり

△いんげん戒壇堂 因幡花柳

△和列あへま祭

△南都真福寺 佛生會 冷会

俗鼻まつり

九日

△清水地蔵権現祭

十四日

△和列あへま祭

十五日

▲東山新熊神本今も御せん
▲五山集拂 依事修り

十六日

▲三井寺護法神祭俗子園

十七日

▲江島坂中 東照文祭

廿日

▲今日わ晦日まで泉備との内
西宮院にて水法経は舎わり
▲新子の奉中らわ

晦日

▲小神御神事まらうしは徳と歌

五月

一日

▲聖者齋子足る久
▲江州初平神祭

二日

▲南熱眉間寺 聖氏三皇像同焼

五日

▲聖者競馬
▲友丸齋まらわ
▲三井寺新天太の神祭
▲園のの神祭
▲大津貴妃まらわ

七日

▲今更はわらうしは十六日と清
梅正の全夜奉酒

八日

▲定活まらわ

十日

▲今更祭

十六日

▲孫持の天被美御てんごく
▲智恵堂の百万遍会珠出

廿二日

▲浅草寺南村九忌

▲坂本夏社まつり

廿八日

▲下系田中道寺祭

廿九日

▲恒吉御田人

卅日

▲祇園まつりあり

六月

仁徳天皇御誕生

仲夏仁徳天皇御誕生 聖護寺 廿二日

下向智恵院虫拵

一日

▲氷室まつり

二日

▲三尾虫拵 今日 下向 廿九日

五日

▲祇園会山やへ後り物

六日

▲祇園を浅草井と用 鳥居あり

七日

▲祇園会今日沖橋まつり 十四日

▲今日夕文向と西条川原祭 網原

▲南都法花寺会式

九日

▲小中天徳文九夜まつり

十日

▲山門七念院源信忌

▲吉田西天王社沖出

十三日

▲妙蓮寺虫拵

十四日

▲祇園会

▲松の尾神事能

十九日

▲吉田小角之祭 西天王と号す

▲泉谷谷殿ありて観音殿と云ふ

▲お西園寺ありて観音殿ありて

▲浄花院と云拂

▲江別竹生嶋系流

十六日

▲禁裏院中清友嘉祥院後成

十七日

▲今約ありて東向觀音多因性

▲相玉寺と云觀音法

▲勢持院と云拂

▲鳥川と云天竺

十八日

▲おはら川と云神事終り太鼓祭あり

▲門の流と云

▲祇園寺と云入

▲山崎と云ありて観音南院

十九日

▲看人涼

▲今日わづらと云ありてあり

廿日

▲今と云海竹切

廿一日

▲大聖院と云拂

廿二日

▲大坂野原の神祭

▲今日わづらと云と梅尾と云拂

▲水や所 後鳥羽院と云新開性

▲并三河原と云拂

廿三日

▲松乃尾神事終り

廿四日

▲あつこ山と云ありてあり

▲表の尾神事終り

▲今約ありてあり 後鳥羽院

忘并三以信大師像開帳
吉田東氏大町神奈
廿五日

▲東谷虫拂

▲妙取寺虫拂

▲本能寺虫拂

▲要法寺虫拂

▲世尊寺虫拂

▲大坂天神市後

廿七日

▲中園寺虫拂

▲大徳寺華燭忘白羽野雲同祥
燈とすい

廿八日

▲妙心寺方丈虫拂

廿九日

▲務別住吉神板

▲江州幸法寺山内

▲賀茂神社能母氏夫同全支勤
▲建仁寺泉涌布薩戒

七月

七月

一日

▲聖天宮お盆日休

二日

▲鳥羽安宗寺お盆三日相院中盆へ

三日

▲相國寺松鷲軒中和院三折定

四日

▲建仁寺開山心 盃及出

五日

▲小中津社燦拂

六日

▲高基寺お盆餘鬼行物を盆敷へ

七日

▲小中津寺お盆 神楽社風の旗を
のこし枕の盆とてして信

▲東西の中庭の花

▲六角堂他の坊之花

▲聖武院の下虫拵 後鳥羽院

宸筆の書

▲大徳寺虫拵

▲文殊寺虫拵

▲东山二心院虫拵

▲形多井家歌竹家翰

八日

▲文珠會

九日

▲今吸人の东山二通まつり

十日

▲清水寺の月詣

十一日

▲今聖蹟山施餓鬼水灯會

宇治川まで修定

十四日

▲今明あふ禁裏井あふり寺

灯籠のりおと

十五日

▲八幡あむら

▲岩倉名谷灯籠まつり

▲智恵院大施餓鬼まつり

▲は日江三井寺あふり

▲今あふり宮屋山子目まつり

▲今あふり寺と白米浦の内新善

光寺の淨陀の縁用帳

十六日

▲千本寺えん海堂まつり

▲東の原まつり

▲松尾まつり

▲九森念佛まつり

▲山崎まつり

▲本法寺虫拵

十八日

▲浄土系浄土 上下

廿日

▲建仁のれ内正傳の龜虫神

▲今の高尾山の元正の文覚

▲上人の系傳のあつて陀羅尼と

漢彌と

廿一日

▲三ノ尾の文覚上人忌

廿四日

▲六地系より付て北系詣

▲現地系系系市

▲常盤の里とま

廿五日

▲妙覚寺の虫く

廿八日

▲連系系系系

廿九日

▲本隆寺用山忌 兼虫神

八月

▲初夜法と漢美まつり

一日

▲林系系系系

▲松の尾神あ相撲

三日

▲博天社まつり

四日

▲勸修寺の社大の社は花八幡

五日

▲江島白松大明神用山忌

漢彌と

十日

▲八幡教舎

▲山崎離宮の八幡神系

▲等持寺の八幡まつり

▲あま八幡まつり

▲廣津の小畑村祭

▲幡枝冬

▲高尾青負神社現祭

▲あままつり

▲志賀八幡祭 相模とどろき

十有

▲敷大石祭

下系佛堂の通

十八日

▲上ノ湯霊祭

▲桂湯温泉祭 あままつり

▲今よりついでと南初西の会

式八幡大席 あままつり

廿二日

▲太茶屋と徳太子開帳并會式

廿四日

▲東山吉田本丸大御神祭

廿六日

▲東山觀勝 崇徳天皇の忌
宸祭 あままつり

九月

松茸遍

二日

▲和加東の会八幡祭 あままつり

四日

▲水野祭

▲本幡祭

五日

▲城列日中萱尾大御神祭

六日

▲高尾寺殿忘方夫と懺法

八日

▲泉涌寺舍利會

▲松尾のまつり

▲玉のまつり

九日

▲磯彌祭 徒あり

▲寺少の祭

▲沖香比三祭

▲麻谷天王祭

▲山志かまらわ

▲くら海祭

▲上京横小興

▲小岩石会廟談

▲大坂生靈祭

▲日中か尾天神祭

▲長谷村中村祭夜よ入け夜よ入
盗人まらわし云

十日

▲大坂四のこまらわ

▲栗木田口天王祭浄出

▲沖香の八神半能

▲五祭天神まらわ

▲下もねまらわ

▲大坂のさくら祭

▲伴勢寺の祭 伎不吉田別業

▲林本裏出陣

▲聖山園の上人忌 花瓶の花と伝言

十一日

▲太琴祭 夜二入

▲伏見三栖の酒肴 赤松の地あり

▲新玉の祭 まらわ 下まらわ

▲白川天王祭

▲津去寺村祭

▲吉祥院祭

▲梅の初日吉市

十二日

▲いそらまらわ

▲栗木田口天王まらわ

▲妙心寺（門） 天太子祭
▲東寺（法華） 灌頂（毎） 日祝（り）
十六日

▲伏見（三） 福天宮（天台） 社祭
▲東山（長） 涼（亦） 天王祭
▲各（各） 三（三） 福（福） 檀（檀） 現（現） 祭

▲永觀寺（入） 入（入） 念（念） 珠
▲智恩寺（百） 方（方） 遍（遍） 念（念） 珠
十八日

▲松蔭（池） 田（田） 久（久） 祭
十九日
▲南（南） 禅（禅） 寺
▲龜山（院） 淨（淨） 土（土） 忌
廿日

▲般（般） 昌（昌） 文（文） 祭
▲久（久） 比（比） 止（止） 祭
▲建仁寺（所） 西
▲城南（寺） 祭
▲竹田（寺） 祭
▲皇（皇） 寺（寺） 祭
廿一日

▲久（久） 世（世） 灰（灰） 方（方） 祭
▲廿二日
▲大坂（大） 座（座） 磨（磨） 神（神） 祭
▲廿三日
▲侵（侵） 祭
▲江洲（江） 逆（逆） 祭
▲廿四日
▲浄（浄） 祭
▲江初（江） 園（園） 清（清） 水（水） 大（大） 神（神） 祭
▲廿五日
▲宇（宇） 津（津） 原（原） 祭
▲大坂（大） 天（天） 海（海） 流（流） 鐘（鐘） 馬
▲廿六日
▲山（山） 天（天） 神（神） 社（社） 祭
▲山（山） 天（天） 神（神） 社（社） 祭
▲安（安） 倍（倍） 祭
▲安（安） 倍（倍） 祭

▲廿七日
▲山（山） 天（天） 神（神） 社（社） 祭
▲山（山） 天（天） 神（神） 社（社） 祭
▲安（安） 倍（倍） 祭
▲安（安） 倍（倍） 祭

▲大坂行の御条

廿日

▲羨想園作忘 天清寺相國寺坐忘院

十月

亥学

中子 栲栳神保の野原解

栲栳仙洞跡上ス

叡山大会(自)に於て祝詞

高雄の御坊方人付波流(自)授

一日

▲今日(わ)と二日(と)智積院論議

三日

▲叡山之三丈原(其)中(新)入(中)二月

飯室(其)あり(十)月(其)横川(其)あり

高(其)安(其)坐(其)る(其)示(其)此(其)月(其)今日(其)國

と(其)入(其)今(其)入(其)り

五日

▲禪利(其)達(其)之(其)忌

▲今日(其)わ(其)世(其)を(其)終(其)る(其)外(其)淨(其)土(其)宗(其)少

ち(其)く(其)千(其)載(其)法(其)事(其)十(其)二(其)日(其)也(其)

六日

▲今日(其)わ(其)と(其)女(其)坐(其)十(其)載(其)法(其)事(其)十

二(其)万(其)辰(其)の(其)刻(其)也(其)

七日

▲大徳(其)寺(其)方(其)丈(其)虚(其)堂(其)之(其)忌

八日

▲新(其)慈(其)神(其)条(其)

十日

▲今日(其)わ(其)と(其)六(其)日(其)と(其)南(其)都(其)真(其)福(其)寺(其)

唯(其)十(其)人(其)也(其)

十一日

▲松(其)の(其)尾(其)神(其)是(其)人(其)傳(其)今(其)日(其)わ(其)と(其)十(其)百

三(其)千(其)也(其)三(其)并(其)ち(其)り(其)わ(其)と(其)勤(其)也(其)

十二日

▲今日(其)の(其)西(其)日(其)梅(其)の(其)尾(其)史(其)代(其)也(其)

十三日

▲日守寺上人御新講

▲小山妙光寺開山御新講

十五日

▲磯原麻呂院舍利會御新講

▲孝二天八祖及係掛御新講

▲松尾舍利院御新講

十六日

▲東福寺前山寺一團御新講

十七日

▲法中法高商人表宗付四糸昌後主

▲誓文掛

▲天龍寺佛國御新講

廿五日

▲南禅寺一山忌

廿六日

▲延暦寺圓澄忌、妙一大雲院

▲修驗今聖三卷一あり

廿八日

▲今初のちのち智修大師堂

▲一々二寺の二山大衆論議あり

廿九日

▲三井寺智澄大師忌

十一月

子祭 并 神社市史焼

初卯 八幡山御新講

初申 大文持現祭

申 大山縣社祭

中酉 聖次以時祭

冬至 五山素栴

二日

▲禪林寺永新忌

八日

▲稻花御新講俗云いりまうわらひ

▲日守寺宗のち二十羅刹女御新講

十日

▲叡山は花浄山門前下は
中流に井水と汲て瀧水の用
▲加久我太田系

十一日

▲妙心寺 花園院浄忌

▲妙心寺 花園院浄忌

十二日

▲格樂寺宜也忌 午刻

十三日

▲今之沖火焼

十四日

▲上下沖雲沖火焼

十五日

▲西之辰寺浄苑忌

十六日

▲今日より廿四日と壬生寺佛忌

▲今日より廿八日と東西辰寺用忌

廿四日

▲叡山三井寺 井寺忌 天宮忌

廿五日

▲今日より廿八日と南都春日忌

廿六日

▲東西辰寺親覺忌

▲法水寺浄苑忌

十一月

内侍所 浄神樂

▲命命 五条天神忌

一日

▲大森佛忌

二日

▲今日より十三日と智積院開山

▲覺鑿忌 報恩痛忌

八日

▲智積院 論儀忌 壬辰酒宴

十一日

▲智積院報恩講當日

▲妙心寺開山忌

▲南禅寺大徳開山忌

十四日

▲今日より十六日と泉涌寺忌

十五日

▲今日より廿日と桂尾佛名忌

廿日

▲滋養秋也堂煉掃并開帳

廿二日

▲大徳寺開山忌

廿三日

▲茲行一遍上人忌時宗寺忌

廿八日

▲此日き徳形持事の本堂に

てとらわ念佛あり

廿日

▲夜ニ入祇園神布大般若あり

て人づく同相破けしわし林

事あり

諸流忌日

▲連歌の會

月次十日

月次廿五日

▲俳諧忌

月次九日廿二日

月次十六日廿五日

万句心八の日月二六日あり

月次廿四日

万句五十五日

新所六角下所

池西三言水

四条五場内

香取如泉

ろの町三本下町

北村湖春

東洞院佛堂

我屋

万々三三九九日

新町六角下
中村良詮

▲註會

觀世流

月次廿二日

双林寺内

林の沐草

進教流三三三流

月次十七日

高卷内

昌徳院

▲立花會

月次十七日

六角堂

池坊

▲鞠垣

月次六日廿一日

妙内町

中松院

月次十七日

四條道場

松島

衣棚二条下所

花房宗化

祇園所

三子席

車屋所姉小島上所

意休

新所六角下所

左近

新所池上所

坂次

室町五上上所

法書東

▲基指南

三松

右左

▲於其茶指南

六条道場

田代布衣

右其基指南の里の金目あり

▲楊弓射場所

大さののけ

小川二条上上所

車屋所姉小島上所

西の院蛸菜上上所

志まむ



京都子織為光二統

全野南

全野南

全野南

全野南

全野南

